

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	子育て支援サービス事業費等	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度	担当課室	育成環境課	杉上 春彦			
会計区分	年金特別会計児童手当及び子ども手当勘定	施策名	児童の健全な育成及び資質の向上に必要なサービスを提供すること(Ⅲ-1-4)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童手当法第29条の2	関係する計画、通知等	「子育て支援事業等助成費の国庫補助について」 (厚生労働事務次官通知 平成6年8月22日 厚生省発児第137号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	民間企業・子育てNPOが設置する放課後児童健全育成事業等を実施する施設やデパート等における授乳室等の整備、商工会等が実施する世代間交流活動等の事業等に対し助成等を行うことにより、児童の健全育成及び資質の向上に寄与することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>(1)放課後児童クラブ等環境整備事業 企業・子育てNPOが放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)等を実施する際の整備費及びデパート等における授乳室等を設置する際の整備等の一部を助成。</p> <p>(2)商工会等児童健全育成活動助成事業 商工会等が実施する幼児または小学生を対象にした世代間交流や郷土文化の伝承活動等の児童健全育成を図る事業を実施した場合及びコンサート等の主催者が参加者の子どもを預かる託児室を設置した場合の事業費の一部を助成。</p> <p>(3)身近な子育て応援活動推進事業 電車内中吊り広告等により、社会全体で子育てを支えるという意識啓発を図る「身近な子育て応援活動」の普及促進をはじめ、子育て体験等に関するエッセー募集や子育てシンポジウム等を実施。</p> <p>○実施主体:財団法人こども未来財団 ○補助率:定額補助(10/10相当)</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算			472	356	355
		補正予算					
		繰越し等					
		計			472	356	355
	執行額			472			
執行率(%)			100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	事業仕分けにより平成22年度から新設された事業であるため、実績等が把握できず、成果指標は示せない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事業仕分けにより平成22年度から新設された事業であるため、実績等が把握できず、活動指標は示せない。	活動実績	-	-	-	-	-
		(当初見込み)	-	-	-	(-)	(-)
単位当たりコスト	-	算出根拠		-			
平成23・24年度予算	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	子育て支援サービス事業費等	356	355	・所要額の精査による減			
	計	356	355				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年11月に実施された行政刷新会議(事業仕分け)からの指摘を踏まえ「こども未来基金」300億円については国庫へ返納するとともに、これまで当該基金の運用益により実施してきた事業(基金事業)のうち、必要な事業については、平成22年度より国庫補助事業として本事業(子育て支援サービス事業費等)を実施。</p> <p>また、本事業は、仕事と子育ての両立の支援、子育てに優しい環境づくりの推進、企業の子育て支援に関する取組みの促進など、財源を負担している事業主への還元的な事業を実施するものであり、民間のニーズを踏まえ、既存の公的サービスでは対応しがたい機動的・弾力的な事業を実施するものである。</p> <p>よって、次世代育成支援に貢献しており、子育て支援に対する事業主の理解を深める上でも重要な事業である。各点検項目による評価も概ね妥当であることから、今後も事業の継続を行う。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>子育て支援サービス事業費等については、事業の必要性や執行の観点からは適切であるが、積算内容を精査の上、効率的な執行が図られるよう見直すこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>積算内容を精査し、実績を勘案して、放課後児童クラブ等環境整備事業のか所数減を行った。(反映額:▲0.3百万円)</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成22年10月28日 行政刷新会議 事業仕分け第3弾 特別会計仕分け 事業番号A-8(1)児童育成事業 ①子育て支援サービス事業費等(財団法人こども未来財団) WG結論:子育てと仕事の両立という本来の目的に合致する施策に厳しく絞り込む。予算要求の圧縮(25%めど)</p>			

※平成22年度実績を記入(交付決定ベース)

厚生労働省
472百万円

国庫補助申請書の審査
交付決定

【A.補】

財団法人こども未来財団
472百万円

・整備費やコンサート・エッセー等の公募
・事業費の支払い

【公募・委託】

NPO法人、地域組織等

放課後児童クラブの整備
子育て支援活動

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.財団法人こども未来財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	子育て支援サービス事業費	393			
人件費	子育て支援活動に要する財団の人件費	28			
事務費	子育て支援活動に要する財団の事務費	51			
計		472	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人こども未来財団	家庭の育児を支援する事業の振興、児童の健全育成等を支援する事業の振興等	472		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					